

2017年7月3日  
上川大雪酒造株式会社  
日立トリプルウイン株式会社

## 北海道に12番目の新たな酒蔵「緑丘蔵」が竣工 上川町のレストラン『フラテッロ・ディ・ミクニ』にて誕生祝賀会を開催



『「緑丘蔵(りよっきゅうぐら)』外観』



『試験醸造酒イメージ』

日立キャピタル株式会社(執行役社長兼 CEO:川部 誠治/以下、日立キャピタル)のグループ会社で、食・農事業を手掛ける日立トリプルウイン株式会社(取締役社長:宇都宮 啓三/以下、日立トリプルウイン)が事業参画する上川大雪酒造株式会社(代表取締役社長:塚原 敏夫)は、2017年7月2日、北海道上川町にて酒蔵「緑丘蔵(りよっきゅうぐら)」の完成を記念する誕生祝賀会を開催しました。

本祝賀会には北海道をはじめ上川町の関係者など約50名が出席し、緑丘蔵にて初めて仕込んだ試験醸造酒と、地元食材を使用した料理が提供されました。

本事業は、日本酒造りを休止していた三重県の酒造会社を、良質な水および酒造りに適した米の生産地である北海道上川地区へ移転したもので、清酒の製造免許が国税庁の管轄をまたいで移転する事例は全国でも前例のないまれな試みとなっています。2016年11月より酒蔵建設に着手し、2017年5月に日本酒の製造許可免許となる「清酒及びリキュール製造場移転許可通知書」を取得した後、同年5月下旬から試験醸造を開始しました。今後は、同年9月より本格的な醸造を開始し、2017年10月から順次販売を開始する予定です。緑丘蔵は北海道で12番目の酒蔵となり、また、北海道に新たな酒造会社が誕生する事例は、数十年ぶりとなります。

日本酒はクールジャパン推進の戦略商品として、海外輸出のさらなる拡大に期待が高まっています。一方で、国内における日本酒全体の出荷量は減少傾向にあり、新たな市場の獲得が求められています。そのような中、本事業では和食のみならず、フレンチやイタリアンに合う高品質な日本酒の醸造を進めていきます。また、全国新酒鑑評会にて、北海道産の酒造好適米100%の酒で金賞を受

賞した経歴を持つ、川端慎治氏が同社の杜氏(とうじ／製造責任者)に就任し、北海道の地域資源を最大限に生かし、かつ世界に通用する日本酒の誕生をめざします。今後、日本酒の醸造・販売に加えて、酒蔵の敷地におけるマルシェの開催や、会員制サービスの実施などを計画していきます。

日立トリプルウインは酒蔵の設営や仕入れ・販売ルートの開拓など事業運営の全般に参画し、酒造事業を契機とした地域ブランドの構築および産業育成を通じた、上川町の地方創生に貢献していきます。

日立キャピタルグループは「2016～2018年度 中期経営計画」において「食」を育てる分野と位置付け、日立トリプルウインにて食・農分野での新規事業の開発や事業運営ノウハウの習得に取り組んでいます。今後、産学連携やIoT(Internet of Things)をはじめとした先端技術の活用などにより、当該分野での製造技術の標準化や生産性の向上に取り組み、日本農業の競争力強化に貢献していきます。

#### ■上川大雪酒造株式会社概要

社名	<small>かみかわたいせつ</small> 上川大雪酒造株式会社
代表者	代表取締役社長 塚原 敏夫
取締役	橋本 賢二(日立トリプルウイン 食・農事業部長)ほか
本店所在地	北海道上川郡上川町旭町 25 番地 1
移転年月日	本店移転登記日:2016年8月26日(設立年月日:1955年12月1日)
事業概要	酒類の製造ならびにこれに付随する一切の業務
資本金	180百万円(資本金と出資金の合計)
大株主	塚原 敏夫、日立トリプルウインほか

#### ■日立トリプルウイン概要

社名	日立トリプルウイン株式会社
代表者	取締役社長 宇都宮 啓三
所在地	東京都港区西新橋一丁目3番1号
設立年月日	2000年2月2日
事業概要	給与計算及び付帯業務、経理・出納業務、国民年金保険料収納 業務、 損害保険代理事業・生命保険募集事業および食・農事業
資本金	50百万円
大株主	日立キャピタル 100%

#### ■照会先

日立トリプルウイン株式会社  
食・農事業部 [担当:大橋]  
〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目3番1号  
TEL 050-3816-2136 (直通)

■報道機関お問い合わせ先

日立キャピタル株式会社

経営企画部 ブランドコミュニケーショングループ [担当:川島、伊藤]

〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目3番1号

TEL 03-3503-2118 (直通)

以上